

2024年10月2日
パーソルイノベーション株式会社

Reskilling CAMP

リスキリング支援サービス『Reskilling Camp』 企業におけるリスキリング施策の実態調査（2024年9月版） ～約8割の企業が生成AI（Chat GPT等）活用でリスキリング成果を実感～

「はたらいて、笑おう。」をビジョンに掲げるパーソルグループのパーソルイノベーション株式会社 Reskilling Camp Company（本社：東京都港区、Reskilling Camp Company代表：柿内 秀賢）が展開する、リスキリング支援サービス『Reskilling Camp（リスキリング キャンプ）』（<https://www.reskillingcamp.jp/>）は、全国の企業にお勤めの方を対象に、「リスキリング施策」に関する定点調査を四半期ごとに実施しています。

7回目となる今回は、業務における生成AI活用とリスキリングの関係性について、聴取しましたので調査結果をお知らせします。

※本調査でいうリスキリングとは、「新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する／させること」と定義しています。



■調査サマリー

- ✓リスキリング施策の実施率は、全体で継続して約40%の傾向を維持し、大企業では約60%が実施
- ✓リスキリングで重視するスキルの上位3位は、「ITプロジェクトマネジメント」「セキュリティ」に次ぎ「AI活用（Chat GPT等）」
- ✓リスキリング施策を実施した企業の約70%が成果を実感している
- ✓リスキリングの対象部門として全体では「情報システム・ITシステム」がトップ
- ✓生成AIの業務活用について公式環境が用意されている企業の全体の89.4%が活用
- ✓生成AI（Chat GPT等）活用におけるリスキリング成果を78.5%が実感

■参考データ

- ・リスキリング施策の実施率（全体・企業規模別）
 - ・リスキリング施策において重視するスキル（全体・企業規模別）
 - ・リスキリング施策の成果実感（全体）
 - ・リスキリングの対象部門（全体・業種別）
 - ・生成AI（Chat GPT等）の業務活用状況
 - ・生成AI（Chat GPT等）活用におけるリスキリング成果実感
- ▶今回の調査結果及び新しい設間に関する結果は、公式サイトでダウンロードいただけます。

[第7弾リスキリング調査レポート ～未来を形成するリスキリングと生成AI（Chat GPT等）によるビジネス変革の新潮流～](#)

■前回 企業におけるリスクリング施策の実態調査 (2024年6月版)

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000403.000071591.html>

■調査結果

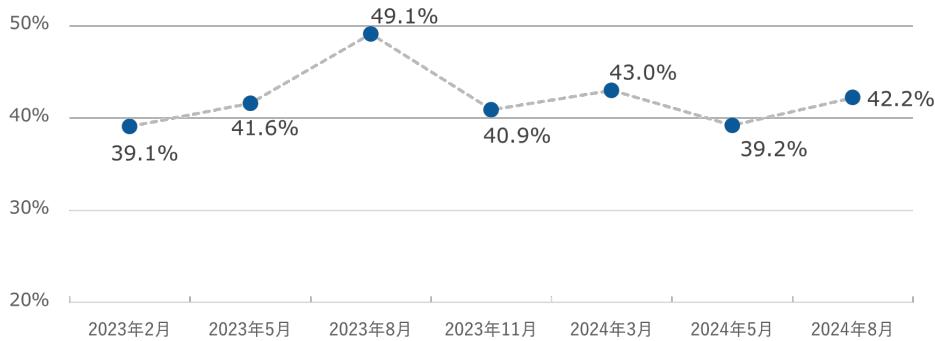
✓リスクリング施策の実施率は約4割の傾向を維持

所属企業において、「直近1年の間で、従業員のリスクリング施策に関する取り組みを行いましたか?」と尋ねたところ、「実施した」との回答は、前回の39.2%に比べ3PT上昇し、今回は42.2%となりました。

企業規模別でみると、大企業では、「実施した」との回答が62.4%と前回の58.8%に比べ、3.6PT上昇し、中小/スタートアップ企業では、34.1% (前回31.5%) となり、リスクリング施策は、引き続き大企業が先行して取り組んでいる実態が伺えます。

あなたの所属する企業では、直近1年の間、従業員のリスクリング施策を実施しましたか。

リスクリング実施率

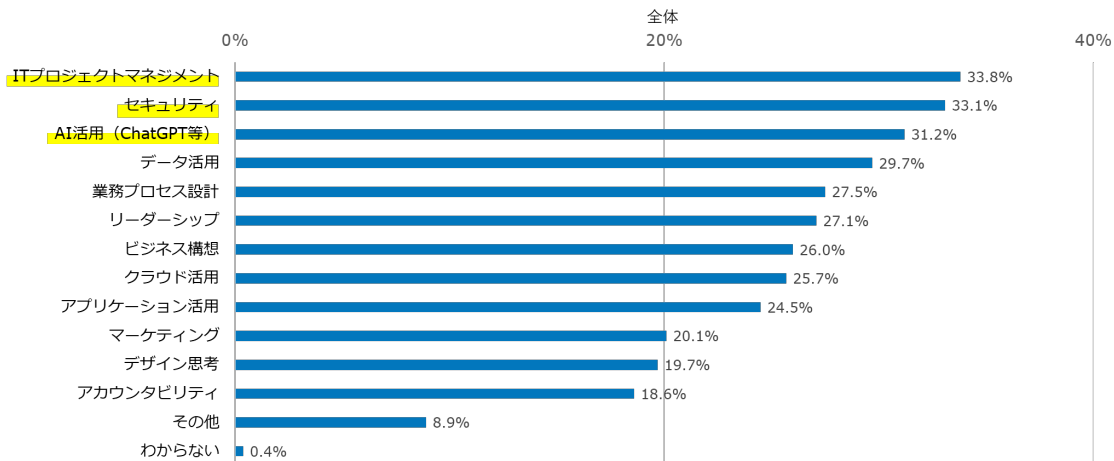


✓リスクリングで重視する上位3位のスキルは「ITプロジェクトマネジメント」「セキュリティ」に次ぎ「AI活用 (Chat GPT 等)」

所属企業が取り組むリスクリング施策において、「重視されるスキルは何ですか?」と尋ねたところ、全体1位は「ITプロジェクトマネジメント」(33.8%)、2位「セキュリティ」(33.1%)、3位「AI活用 (Chat GPT 等)」(31.2%) となりました。

企業規模別でみると、大企業の1位は「ITプロジェクトマネジメント」(42.0%)、2位「セキュリティ」(41.2%)、3位「AI活用 (Chat GPT 等)」(39.7%) に対し、中小/スタートアップ企業では1位は「リーダーシップ」(28.8%)、同率で2位「ITプロジェクトマネジメント」、「業務プロセス設計」、「セキュリティ」(26.5%)、3位「データ活用」(25.0%) となりました。大企業・中小/スタートアップ企業でセキュリティが重視されているのに加え、大企業では特にAI活用にも積極的であることが伺えます。

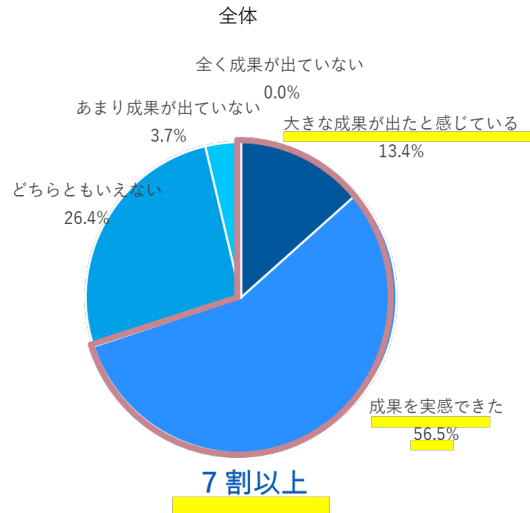
あなたの所属企業で取り組んでいるリスクリング施策において、重視されるスキルは何ですか。 ※複数回答



✓リスクリング施策実施企業の約70%が成果を実感している

所属企業が取り組むリスクリング施策において、成果実感について尋ねたところ、「大きな成果が実感できた」との回答は、13.4%（前回13.2%）、「成果を実感できた」との回答は56.5%(前回63.6%)となり、リスクリング施策の成果を感じている企業は、全体で約70%となりました。

あなたの所属企業ではリスクリングの取り組みをどのように評価されていますか。

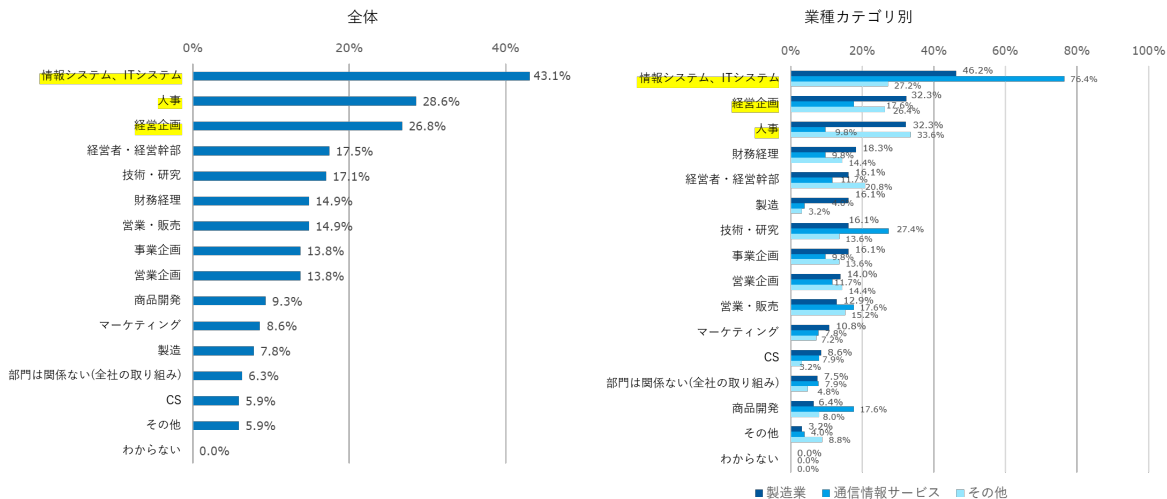


✓リスクリングの対象部門として「情報システム・ITシステム」がトップ

リスクリング施策の対象となる所属部門について尋ねたところ、「情報システム・ITシステム」（43.1%）がトップで、次いで「人事」（28.6%）、「経営企画」（26.8%）となりました。

業種別でみると、通信情報サービス業における「情報システム・ITシステム」部門が76.4%と前回調査よりも10.9PT増加する結果となりました。

あなたの所属する企業でリスクリングの取り組みの対象となる方は、主にどのような部門に所属していますか。 ※複数回答

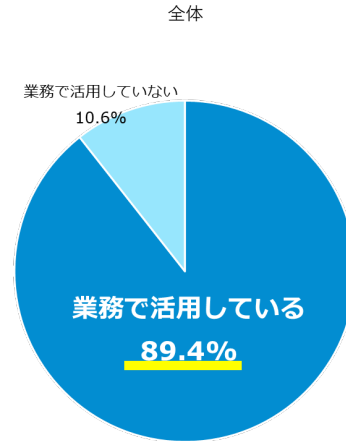


✓生成AIの業務活用について公式環境が用意されている企業の全体の89.4%が活用

所属する企業に生成AI活用に関して、公式環境が用意されている方に活用について尋ねたところ、90%弱と大半の方が生成AI（Chat GPT等）を業務活用していることが分かりました。（89.4%）

あなたの所属企業では生成AI(Chat GPT等)を業務活用していますか。

※「公式環境が用意されている」と回答者を対象とした。

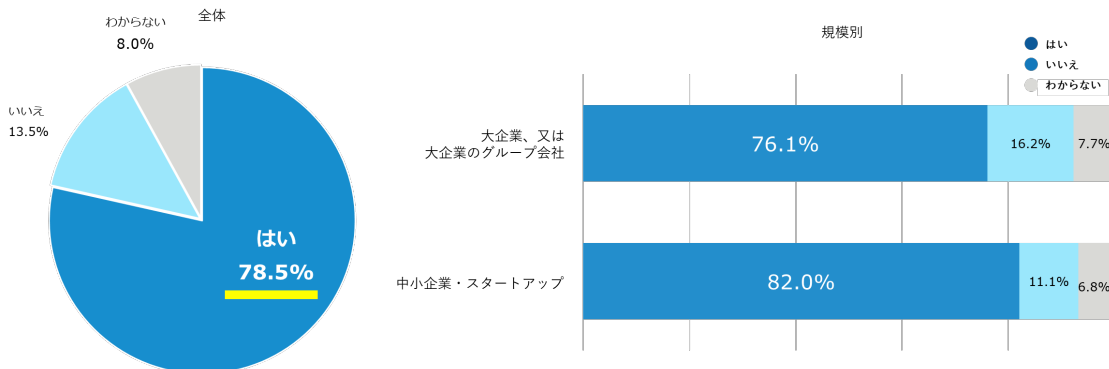


✓生成AI（Chat GPT等）活用におけるリスキリング成果実感

生成AI（Chat GPT等）活用におけるリスキリング成果を実感しているか聞いたところ、全体の78.5%が実感していることが分かりました。規模別にみると、どの事業規模においても、70%以上が生成AI（Chat GPT等）活用におけるリスキリング成果を実感しており、特に中小/スタートアップ企業では82%と高い割合で成果を実感していることが分かりました。また、業種別では、製造業が84.4%と最も高く成果を実感している結果となりました。

あなたの所属企業では生成AI（Chat GPT等）活用におけるリスキリングの成果を実感していますか。

※「公式環境が用意されている」かつ「業務活用している」回答者を対象とした。



■まとめ

パーソルイノベーション株式会社 Reskilling Camp Company代表 柿内 秀賢

7回目となる今調査では、定点観測的な項目に加え、業務上のAI活用とリスキリングの関係性について考察しました。今回の調査の結果では、経営主導のリスキリング、目的明確化、適切な資源配分、成果の評価とフィードバック、生成AI活用におけるAs-IsとTo-Beの整理、そして学習者サポート環境の整備がリスキリング成功へのステップであることを示唆していると感じました。

また、新たに聴取した生成AI（Chat GPT等）活用でリスキリング成果を実感しているかについては、約8割の企業が実感しているという結果となり、リスキリングを実施する上で、いかに生成AIが欠かせない存在になっているのかも分かります。

※上記結果の資料は、公式サイトでダウンロードいただけます。



■調査概要

- 調査手法 : インターネットリサーチ Fastask (株式会社ジャストシステム提供) でアンケート調査を実施
 調査対象 : 全国の企業にお勤めの方
 調査期間 : 2024年8月6日(火) ~ 2024年8月15日(木)
 対象人数 : 660
 企業属性 : ※大企業 : 従業員数が300人以上の企業
 ※中小企業とスタートアップ : 従業員数が300人未満で、新規事業開発と成長を経営の軸に置かない企業と従業員数が300人未満で、新規事業開発と成長を経営の軸に置く企業。大企業の子会社やグループ会社は含まれない。
 ※製造業 : 電子部品・デバイス・電子回路製造業、情報通信機械器具製造業、電気機械器具製造業(上記に含まれないもの)、その他製造業
 ※通信情報サービス : 通信業、情報サービス業、その他の情報通信業
 お 願 い : ※本調査結果や資料を引用いただく際は、必ず出典元としてパーソルイノベーション株式会社『Reskilling Camp』とご記載いただき引用元としてリンクをお願いします。またメディア以外の企業リリースでの引用は、問合せを入れていただきますようお願いいたします。

■『Reskilling Camp』について < <https://www.reskillingcamp.jp/> >

『Reskilling Camp (リスキリング キャンプ)』は、総合人材サービスを提供するパーソルグループのノウハウを活かし、リスキリング※に強みを持つデジタル人材育成サービスです。需要の高まるデジタル人材育成において「何を学ぶか」「どう学ぶか」に課題を持つ企業に「各社のニーズに合わせた柔軟なカリキュラム設計」「コーチによる学習伴走」を通じてサービスを提供しています。

※1「リスキリング(Re-Skilling)」とは、個人においては「市場ニーズに適合するため、保有している専門性に新しい取り組みにも順応できるスキルを意図的に獲得し、自身の専門性を太く、変化に対応できるようにすること」、企業においては「従業員が社内で新たな業務に就けるようにするための再教育のこと」を言う。大学等に入り直す「リカレント教育」に対して仕事を続けながら継続して学び続けることを指す。

▶お知らせ

リスキリング支援サービス『Reskilling Camp』代表の柿内 秀賢が、リスキリングをテーマとした書籍『リスキリングが最強チームをつくる』を2024年3月22日に刊行しました。デジタル普及下での新たなリーダーシップや、DX後の姿を描く「構想」と、構想を「実行する」一気通貫で牽引する課題に興味がある方におすすめです。

- ・書籍名 : リスキリングが最強チームをつくる(ディスカヴァー・トゥエンティワン)
- ・著 者 : 『Reskilling Camp』代表 柿内 秀賢
 紀伊國屋新宿本店 ビジネス1位/単行本総合1位 (2024年5月1週)
 丸善丸の内本店 ビジネス1位 (2024年4月7日付け)
 丸善日本橋店 ビジネス1位 (2024年3月31日付け)
 ブックファースト新宿 ビジネス1位 (2024年3月17日~3月23日)
- ・Amazon ページ : <https://amzn.asia/d/aWiFgqc>



■パーソルイノベーション株式会社について < <https://persol-innovation.co.jp/> >

パーソルイノベーション株式会社は、パーソルグループの次世代の柱となる事業創造を目的として、2019年4月に事業を開始しました。リスキリング支援サービス『Reskilling Camp (リスキリング キャンプ)』や、新規事業創出プログラム「Drit (ドリット)」から創出された、コミック教材を活用した研修サービス『コミックラーニング』、副業マッチングサービス『lotsful (ロットフル)』などを運営するとともに、新たな事業開発や、デジタルトランスフォーメーションを推進、パーソルグループのイノベーションを加速していきます。